

演題：院内「介護ミーティング」と調剤薬局の居宅療養管理指導 所属：イトウ内科クリニック 氏名：伊藤 純子 先生

第80回全国臨床糖尿病医学会学術集会 日時:2025年9月7日(日) 会場:第一ホテル両国5F 北斎

開業15年後くらいから自院の患者の高齢化が気になるようになりました。当院ではコメディカルがその日の担当患者の診察を進めていく体制で患者と話す時間が比較的長いいためか、スタッフからも患者高齢化を危ぶむ声が聞かれるようになりました。そのような状況で2021年にスタッフが自発的に「介護ミーティング」を始めてくれました。

事務員を含む医師以外の全員が月1回午後の診察が始まる前に集まって、介護が必要となってきた患者や認知症の進行が疑われる患者をとり上げ対策を協議します。ミーティング担当の看護師が各職種から気になる患者を挙げてもらい取り上げる患者のリストを作り、カルテから情報収集をします。医師から気になる患者をリストに追加してもらおうこともあります。

ミーティングでは患者の生活状況、家族関係、病状などをもとに今後の対策が話し合われます。対策としては、次の診察に家族を呼ぶ、包括支援センターやケアマネージャーに連絡する、病院の神経内科受診の段取りをするなどが多いです。ミーティングの結果は医師に報告され、医師は事前に情報提供書を作成したり、あるいはなかなか来院してくれない患者家族に電話したりといったことを担当します。こうしたことを前もって行っておくことで診察時はストレスなく対応でき、また早期より家族を巻き込んだ対策に繋がっています。

当院が認知症の進んできた患者への対応としてもう一つ行っていることに、調剤薬局の「居宅療養管理指導」があります。患者宅へ薬を届けて服薬状況、薬の保管状況、残薬の確認などを行ってまいります。薬剤師は家族や訪問看護師と相談しながら患者が間違いなく服薬できるように薬の設置方法や投薬方法を工夫してくれます。

薬剤師からは服薬状況のみならず、家に行くことで得られる貴重な情報も提供されます。ある患者では冷蔵庫にトルリシティ®が20本も発見され自己注射ができてないことが分かりました。押し入れから古い未使用のインスリンがたくさん出てきた患者もいました。

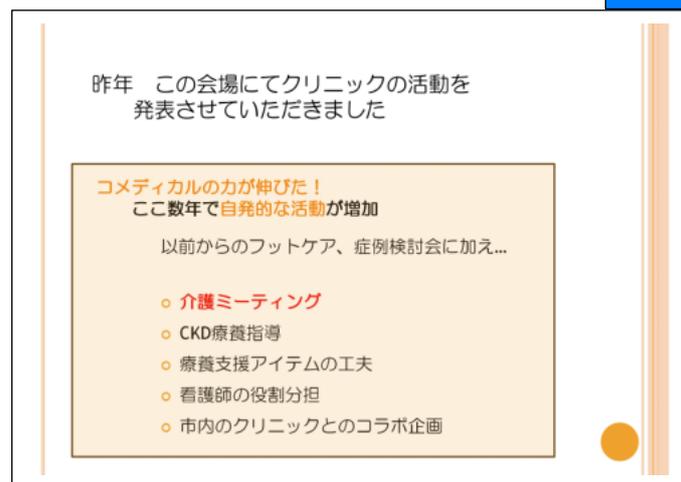
こうした訪問に対応する診療報酬には、医療保険では「在宅訪問薬剤管理指導料」、介護保険では「(介護予防*)居宅療養管理指導料」(*要支援1,2の場合)がありますが、訪問が必要な患者はほとんどが介護保険の利用者であるため介護保険での算定となっています。原則的には往診患者に対して行うものですが、通院患者にもお願いしています。

当院で行っている高齢患者への取り組みをご紹介させていただきます。コメディカルの協力でスムーズな対応が取れていると感謝しております。

1



2



介護ミーティング

- 2021年4月より開始
- スタッフの発案
「先生、患者さんたちが歳を取ってきて認知症が疑わしい人や一人暮らしが危なっかしい人が増えている。早めに対策を立てていきたいのでみんなでミーティングをやることにしたいがいいですか？」
- 月1回、スタッフが気になる患者さんをピックアップし、各職種で情報交換しながら対策を話し合う

流れ

1. 担当看護師が皆の意見を聞きながらとり上げる患者をピックアップする (5-10人ほど)
2. 分担してカルテから情報収集
3. 事前にとり上げる患者について医師に報告する
取り上げてほしい患者を追加してもらうこともある
4. 話し合い 毎月第3火曜日 15時～ (1時間弱)
5. 同日診察終了後に話し合いの内容を医師に報告

各職種からの情報提供

- 薬局より
お金を払う時に何となく困っている感じ
残薬が多い
- 以下のような訴えを繰り返す
薬の数が合わない
薬がなくなった
「そっちが間違っているんだろう」

カルテ内の認知症・介護関連の情報をまとめたシート

項目	内容
認知症	認知症の診断の有無、診断時期、診断医師、診断内容、経過、治療、介護状況、家族の認知、認知症ケア計画、認知症ケアの実施状況、認知症ケアの評価、認知症ケアの課題、認知症ケアの改善点
介護	介護の必要性の有無、介護の種類、介護の開始時期、介護の継続状況、介護の負担感、介護の費用、介護の保険、介護の支援、介護の連携、介護の改善点

参加者

- 看護師 (担当リーダーあり)
- 栄養士
- 検査技師
- 事務員
- 薬剤師 (隣の調剤薬局より)

★医師は参加していません
(いない方が話し合いが活発になるので)

各職種からの情報提供

- 事務員より
お金を払う時に何となく困っている感じ
たびたび予約日を間違えて来院する
待っているときの様子がぼーっとしている
- 検査室にて...
体臭がある、入浴してない感じ
足が汚れている、カサカサ
同じ服を着ている、洗濯してない感じ
体重が徐々に減ってきている (食生活は大丈夫?)

情報収集の例 4回分のカルテをまとめてある



話し合いの記録

NO.	DATE	内容
11235	2021.1.18	堀江 (小児科) 前子小太郎
3998	2021.1.18	石川 肥後内科 長谷川 20歳 MCT 石川 肥後内科 長谷川 20歳 MCT (20歳)
3621	2021.1.18	薬に届くことがない (生活状況 カウン)
10585	2021.1.18	10月新着 ひとりで 薬の服薬に相談 介護申請したいが本人が拒否 9月～12月再発 (拒否)
9835	2021.1.18	物忘れ (認知) 本人が拒否 本人が拒否
9948	2021.1.18	介護申請 (本人)
11620	2021.1.18	介護申請 (本人) → 介護申請 (本人) 本人が拒否 (本人) 本人が拒否 (本人)

本来、往診と組み合わせられるものだが医療保険と介護保険の「はざま」で、**通院患者にも**やっってもらっているが特に「おとがめ」はない

この費用は介護保険の利用に際して「勘定に入らない」らしく、点数的にケアプランの邪魔にならないらしい

ご清聴ありがとうございました



まとめ

クリニックで往診に至らない患者宅に**薬剤師が訪問してくれる**ことで、患者さんの生活状況に関する**貴重な情報が得られる**

介護保険報酬の5,000円余が割にあうかどうか薬局の状況によるが、**薬剤師の件費を考えると決して十分なものではない**ようだ